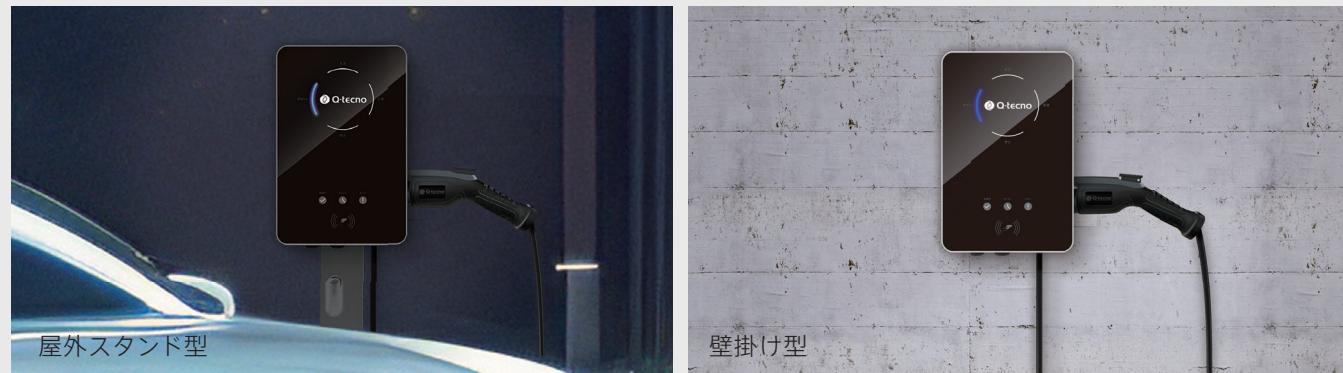


モデル QEC-F-01

定格交流入力	
電気方式	単相3線式 L1+L2+PE
電圧 [V]	200
周波数 [Hz]	50/60; ±5
定格交流出力	
電圧 [V]	200
電流 [A]	30
電力 [kW]	6
一般仕様	
充電ケーブル長さ [m]	7.5
寸法 (W×H×D) [mm]	265×370×155
重量 [kg]	8.8
設置	
設置方法	壁面取付(オプション: 自立スタンド取付)
設置場所	室内/室外
使用温度範囲 [°C]	-30 ~ +50
使用湿度範囲	5%~95% 結露なし
防水防塵レベル	IP65
通信	
通信モード1	Wi-Fi
ワイヤレスモード	802.11 b/g/n
通信モード2	LAN
イーサネット	10/100 M (DHCP)
保護機能	
過電圧・不足電圧保護	あり
過負荷保護	あり
漏電保護	電流障害監視(30mA AC 100ms) ※
接地保護	あり
サーボ保護	あり
加熱保護	あり
安全規格	PSE

※ 製品の設置、配線の接続、および取扱いについては、法律、規制を遵守してください。
※本製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

設置事例



九電テクノシステムズ株式会社

これからの暮らしに必要な

スマート EV充電器

6kW(mode3)



お問い合わせ

九電テクノシステムズ株式会社 **0120-027-092**
Kyuden Technosystems Corporation

<https://www.q-tecno.co.jp>

選べる2タイプ*

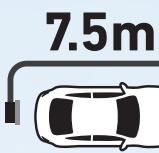
使い勝手の良いシンプル機能
**パーソナル
タイプ**

*パーソナルからビジネスへのソフトウェア・アップグレード可能(有償)

企業・集合住宅・商業施設向け
**ビジネス
タイプ**

7.5mの充電用ケーブル

どの車両の充電口にも届く安心設計



LED照明

夜間でもクリアに点灯
ひとめでわかるブルーのLED



軽量コンパクト

場所を選ばず取付簡単



充電出力調整

既設電源に合わせて5段階で出力調整



EV充電器の「mode2」と「mode3」の違い

車両に付属している充電ケーブルで
コンセントから車両に充電を行う
方式。

mode2



mode3



1 充電時間はMode2の約半分

Mode2の最大出力は3.0kW、Mode3は6kW。EVの電池は年々大容量に進化しており、6kW充電が必需品。

2 盗電防止のセキュリティ機能*

無断充電を防止するため、スマートフォンや専用カードキーなどを使ったセキュリティ機能が搭載可能。

3 充電準備に手間がかかるない

Mode3なら充電器とコネクタが一体型なのでEVに充電コネクタを挿すだけでOK。

4 遠隔での監視・制御機能*

スマートフォンやPCで充電器状況・充電状況の監視や、充電の開始・終了操作が可能。

これからのEVユーザーに
「Mode3」をオススメする

4つの理由

*当社スマート充電器を含む一部機種のみ

パーソナルタイプ ビジネスタイプ

アプリを使えばこんなことも！

アプリで
簡単操作

アプリでスマートに充電

- 1 充電の予約・充電出力の変更が可能
- 2 利用者のみが使用できる
セキュリティ機能を追加可能

スマートフォンで
機器の操作や設定変更、充電器状況を
リアルタイムに確認

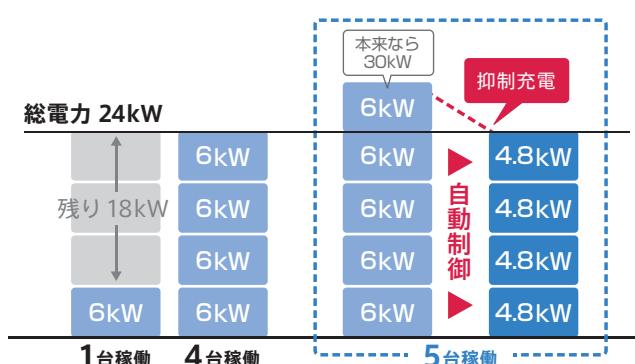
ビジネスタイプ

充電器で使用する電力上限値を設定(総電力制御)*

複数台の充電器を設置した場合でも、予め使用できる電力の上限設定をしておくことで、それを超過しないよう各充電器の出力を自動的に調整

*総電力制御機能はデータハブ(オプション)が必要です。

例 総電力を24kWに設定した場合の各充電器の出力変化



電力を抑制することによる2つのコストメリット

- 1 電気料金(基本料金・電力量料金)アップを防止
- 2 使用電力増加に伴う電気設備増強が不要



ビジネスタイプ

専用アプリによる課金決済機能*

*課金決済機能は2024年4月リリース予定です



スマートフォンで
簡単にEV充電器の利用料金を
課金決済できる機能を搭載

充電器設置者にも利用者にも
嬉しい課金機能

充電器設置者へのメリット

- ・充電料金を自由に設定可能
- ・スマートフォンで設定や使用状況等を管理

利用者へのメリット

- ・スマートフォンでいつでもどこでも利用申し込みOK
- ・クレジットカードで簡単に決済可能